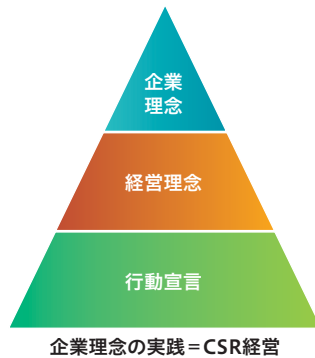


人々の健康で豊かな生活のために

理念



当社は社会に対する使命を「企業理念」に、ステークホルダーとの関係を踏まえた経営の目的を「経営理念」に掲げています。「企業理念」は当社が果たすべきCSR(企業の社会的責任)そのものであり、企業理念の実践を「CSR経営」と定義し、最も重視しています。

企業理念

人々の健康で豊かな生活のために、
研究開発を基盤とした新たな価値の創造により、
広く社会に貢献する

経営理念

- 顧客視点の経営と革新的な研究を旨とし、これからの医療と健やかな生活に貢献する
- たゆまぬ事業の発展を通して企業価値を持続的に拡大し、株主の信頼に応える
- 社員が自らの可能性と創造性を伸ばし、その能力を発揮することができる機会を提供していく
- 企業市民として社会からの信用・信頼を堅持し、よりよい地球環境の実現に貢献する

行動宣言

理念実践の具体的指針として、「行動宣言」を設定しています。
当社の役員・従業員は、社会から信頼され存在感のある企業を目指し、法令遵守はもとより、以下の行動宣言に従って企業活動を遂行します。

1. “Innovation today, healthier tomorrows”の実現に取り組みます
2. 誠実な企業活動を行います
3. 積極的な情報開示と適正な情報管理を行います
4. 従業員の能力を活かします
5. 人権を尊重します
6. 地球環境問題に積極的に取り組みます
7. 社会との調和を図ります

→ 理念の詳細は、<https://www.ds-pharma.co.jp/profile/principles/>をご覧ください。

企業文化

真面目で誠実な企業文化を基盤に、 現状に安住せず挑戦し続ける文化の醸成

企業文化への 認識

2005年10月に大日本製薬と住友製薬が合併して誕生した当社は、革新的かつ有用な医薬品を日本のみならず世界中の人々に提供することを目指して歩み始めました。

この合併は製薬業界での生き残りを懸けた大きな決断であり、両社の従業員が同じ方向を向いてシナジーを早期に実現するため人心の融合と融和に注力しました。当時の経営陣と従業員が、旧大日本製薬、旧住友製薬ということではなく、新しい大日本住友製薬として一丸となって事業を推進しました。その結果、いち早く新しい会社として団結し、真面目で誠実、相手を尊重し、信頼を大切にするという、合併前から両社が持っていた好ましい要素が一層際立った企業文化を醸成できたと認識しています。

環境変化をいち早く捉えて新しいことに積極的にチャレンジしていく「挑戦的企業文化の醸成」を合併時の基本戦略に掲げていました。合併以降に取り組み続けた数々の挑戦が、グローバル企業へと変貌を遂げた今日の大日本住友製薬につながっています。

今後は、より一層厳しい環境変化が予想されます。現状に安住せず挑戦し続ける企業文化の醸成に取り組みます。

企業文化を象徴するキーワード

確立している企業文化

真面目で誠実である

相手を尊重する

信頼を大切にする

強化したい企業文化

挑戦が奨励される

風通しが良い

Positive Attitude

変化を先取りする

やり抜く

「ちゃんと やりきる力」 の浸透

当社は、「イノベーションを継続的に創出し、人々に確実に届ける」「世の中の変化を捉えて自らを変化させ、事業を継続的に成長させ続ける」ために、「ちゃんとやりきる力」が浸透した柔軟で効率的な組織基盤を構築することを掲げています。

全従業員が「自分ごと」として当社の目指す姿の実現に向かって挑戦し、常に進化し続けていくための行動指針(=「CHANTO」)を経営の意思として定め、全社に浸透させていく、「プロジェクト CHANTO」の取り組みを推進しています。本取り組みにより、従業員一人ひとりの行動変容、個人と組織の成果の創出に結び付けることを目指します。

→「プロジェクト CHANTO」の詳細はP.50をご覧ください。